

報 道 資 料

奈良県	担当部署名	奈良県医療政策部保健予防課感染症係 0742-27-8612
奈良市	担当部署名	奈良市保健所保健予防課感染症係 0742-93-8397

麻しん（はしか）の注意喚起～麻しん患者の発生について～

奈良県内で、複数の麻しん（はしか）患者の発生がありましたので、今後の感染拡大を防止し、注意喚起のため報道発表します。

報道に際しては、患者のプライバシー保護及び施設の風評被害にならないよう、十分配慮していただきますようお願いいたします。

1 発症者

- ・発症者数（9月21日 15時現在） 3名
- ・発症者内訳

患者	年代	性別	居住地	発症日	症状	PCR検査 陽性判明日	予防 接種歴	備考
①	40歳代	男	桜井市	9/11	発熱・発疹・咳	9/16	なし	
②	30歳代	男	大和高田市	9/15	発熱・発疹・咳	9/16	あり	県外で発症し現在も 県外滞在中
③	30歳代	女	奈良市	9/18	発疹・鼻汁	9/20	あり	

2 経過

9月16日（金）

- ・県外の麻しん患者の接触者（健康観察中）について発生届を医療機関から保健所が受理（患者①及び②）
- ・保健所が、疫学調査及び検査実施

9月18日（日）

- ・奈良市保健所が、同県外患者の接触者（健康観察中）について医療機関から発生届を受理（患者③）
- ・保健所が、疫学調査及び検査実施

3 現在の状況

全員自宅療養中であり、入院者はいない。

4 注意喚起の内容

- ① 麻しん患者と接触した場合は、潜伏期間を考慮し、接触後21日間の健康観察が必要です。
- ② 上記発症者は、いずれも9月2日に奈良ロイヤルホテルを利用していることから、同日に同ホテルを利用した方で9月23日（金）までに発熱・風邪症状・発疹の症状が出現した場合は、医療機関の受診が必要です。受診する前に最寄りの保健所に連絡するか、必ず事前に医療機関に連絡し、「麻しんかもしれない」ことを伝えたくて指示に従ってください。連絡なく医療機関を受診することは絶対にやめてください。
- ③ なお、麻しん患者がホテルを利用した9月2日から3週間が経過する9月23日までホテル従業員の健康観察を実施しており、現時点での発病者はいません。
- ④ 麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる病気で、典型的な症状としては、感染の約10日後に発熱や風邪症状が始まり、2～3日発熱が続いた後、39℃以上の高熱とともに発疹が出現します。全身の免疫力が低下するため、肺炎・中耳炎・脳炎などを合併することもあります。予防接種を1回も受けていない乳児や妊婦が発症すると重症化や流産する危険もあります。定期の予防接種は、1歳児と就学前の幼児（年長児）です。対象者はできるだけ早めに受けるようにしましょう。